【ソーシャル・スキル・トレーニング９　やさしい頼み方】　初級

１　プログラム名　「やさしい頼み方」

２　指導のねらい

人は互いに助け合いながら社会をつくり、人間関係を築いていく。しかし、自分から頼む働きかけができなければ、助けてほしいことに気付いてもらえない。そのため、相手の気持ちを大事にしながら自分の気持ちや考えをはっきり伝えられるようにすることが大切である。強い言い方ではなくやさしい頼み方が　できるようになり、相手との人間関係を深めていけるスキルを身に付けさせたい。

３　獲得目標とするスキル

①相手の気持ちを大事にしながら、自分の願いを伝える頼み方を身に付ける。
②頼むときの理由や何をして欲しいのかをはっきりと相手に伝える力を身に付ける。

４　展開

場面	教師の発問（○）・指示（●）	児童の反応・行動	留意点	時間
インストラクション	●人は、だれかに助けられたり、だれかを助けたりしながら生きています。みんなもだれかに助けてもらいたいと思うことがありますよね。誰かに助けてもらいたいと思うときには、やさしい頼み方が大切です。 ○ワークシートを見てください。掃除の時間、ほうきで掃いている友だちに机を一緒に運んでもらうには、どう頼めばよいでしょうか。	・手伝ってもらったり、助けてもらいたいと思ったことがある。 ・ねぇ、一緒に運んで。 ・重くて持てないから手伝って。 ・ほうきやってるのに、ごめんね。机を一緒に持ってくれる？	・どのように頼んだら、気持ちよく引き受けてくれるのだろう、という問題意識を持たせる。	10
モデリング	●先生が２つの頼み方をやってみます。 ＜パターン１＞ 「運んでよ！」のように一方的な頼み方。 ＜パターン２＞ 「今、大丈夫？この机を運びたいんだけど、重くて一人じゃ持てないんだ。一緒に運んでくれたら、助かるんだけど。」 ●相手役に感想を聞く。 ○見ていたみなさんは、どんな感想をもちましたか。 ○どんなところが、よかったですか。 ●いろいろと考えてくれましたね。気持ちよく引き受けてもらうためには次の3つが大切ですね。 ・頼みごとをしなければならない理由 ・具体的に自分のお願いしたいことを伝える ・お願いを聞き入れてくれたときの自分の気持ち	・モデリングを見る。 ・前の方は、命令されているみたいで手伝いたくない。 ・後の方は、笑顔でやさしく頼まれたから、手伝ってもいいと思った。	**工夫のポイント** 日常生活の中でお願いする場面はたくさんあるので、クラスの実態に合わせて頼みごとを工夫するとよい。 ・意見を板書し、やさしい頼み方の3つのポイントを整理する。 ・表情など非言語面にも目を向けさせる。	10
リハーサル	●実際の場面での頼みごとを考えて練習します。「お願いカード」に記入してみましょう。 ●台本をもとに練習してみましょう。4人組になって頼む人、頼まれる人が1人ずつ。あとの2人は見ていて、よかったこと、こうするともっとよくなることをアドバイスしてあげます。 ●各班ごとに代表者を決めてみんなの前でやってもらいます。上手だった点を発表してください。	・３つのポイントをもとにしてワークシートに台本をつくる。 ・頼む人、頼まれる人、観察者の役を全員が体験する。	・つくった台本をもとに繰り返し言語リハーサルを行わせる。 ・慣れてきたら台本なしで行うよう助言する。 ・頼みごとの練習なので、頼まれる人は必ず引き受けるようにする。	20
フィードバック	○「わたしのお願い」をしてみて、どんな感じがしましたか。 ●今日の学習を生かして、相手の気持ちや立場を考えたやさしい頼み方をしていきましょう。	・お願いを聞いてもらうとうれしいし、助かる。 ・相手に気持ちよく引き受けてもらえる頼み方をしたい。 **工夫のポイント** 頼むことと断ることは関係が深いので、日常生活の中で関連付けながら指導していくと、より効果的である。	・自分が頼んだことを相手に聞き入れてもらうことのありがたさに気付かせるとともに、頼み方によっては人間関係にも影響することにも気付かせる。	5

５　その他

相手が頼み事をきいてくれるかどうかは、普段からの相手との親しさの度合いによる場合がある。願いをきいてもらった相手から、次に自分が頼まれる立場になったときは、できるだけきいてあげようとすることが大切である。このことが、今までよりも相手との関係を深めていくことにつながり、人はだれかに助けられたり、だれかを助けたりしながら生きていることに気付かせたい。

板書例

「相手の都合を聞く声かけ」「頼みごとの理由」「具体的なお願い」「頼みを聞き入れてもらったときの気持ち」

【ソーシャル・スキル・トレーニング９　やさしい頼(たの)み方ワークシート】

初級

年　　組　　氏名

◆　どうやって頼(たの)んだらいいでしょう。

【ソーシャル・スキル・トレーニング９　やさしい頼み方ワークシート】　初級

年　組　氏名

◆頼みごとを考えましょう。

＜例＞
○パソコンの使い方を教えてほしい。　○跳び箱をいっしょに運んでほしい。
○休み時間の図書当番を代わってほしい。　○教科書を忘れてしまったので貸してほしい。
○二重跳びを上手にできるコツを教えてほしい。　など

◆やさしい頼み方を考えてみましょう。

	自分の頼みごとのセリフ	（例）机の時
1　頼みごとをしなければならない理由		この机、重たくて一人じゃ、運べないんだ。
2　何を頼みたいのか（具体的なお願い）		この机を後ろまでいっしょに運んでほしい。
3　頼みを聞き入れてもらったときの気持ち		手伝ってもらうと、本当に助かる。

◆頼むときに注意することをまとめましょう。